



学校だより

あいかわ

鈴鹿市立合川小学校

No. 24

令和8年2月25日

8の字なわとびの取組

1月21日から29日までの期間、8の字なわとびの取組を行いました。どの学年も、記録を伸ばすために、休み時間や体育の時間に一生懸命練習に取り組み、タイミングの取り方や縄を回すスピードなどを工夫していました。

取組の最終日には、体育館で1年生から6年生までが最高記録にチャレンジしました。本番前に円陣を組んで気持ちを高めたり、大きな声で回数を数えたり、どの学年も気合が入っていたと思います。

感心したのは、誰かが引っ掛かったときに、すぐに励ましの声が出たり、タイミングを取るのが苦手な子の背中を後ろの子が押してあげたりと、仲間同士の支えあいが見られたことです。いつもは1回で縄に入れない子が入れた時に、歓声が上がっていました。回数にこだわることも大切ですが、仲間を思いやり、成功したときに一緒に喜び認め合える集団は素晴らしいと思います。8の字の取組を通して、成長している子どもたちの姿を見ることができ、うれしく思いました。また、このような姿が、非認知能力の「やりぬく力」や「自己肯定感」「社会性」に繋がっていくと思います。



- ・友だちが連続で跳べたことが、自分ができなかったことが初めてできたくらい、とってもうれしかったです。
- ・クラスの子が引っかかっちゃったときに、「ドンマイ」、「大丈夫、大丈夫」という声が聞こえたり、言えたから、なんかあったかい言葉でいいなと思いました。
- ・練習の時は、できないときもあったけど、みんなが「大丈夫」と言ってくれたから、今日できたと思います。
- ・ミスをしたら「できるよ」と優しく声をかけてもらったり、かけたりして、もっとみんなの絆が深まったと思います。
- ・今日の8の字なわとびは、自分が思うには、もう1段階「絆」が深まったのではないかなと思いました。なぜかという、皆が「切り替え」とか「次、次」と励まし合い、声をかけていたからです。自分のことではなくても喜んだりして、良かったなと思いました。
- ・引っかかったときに声かけができて、クラスの雰囲気は良くてきたんじゃないかなと思いました。もっと、いろいろな場面でこういう雰囲気を作っていきたいなと思いました。
- ・合川小学校最後の大きなわで悔しい結果だったけど、結果より友だちが連続で跳べたことで、みんな嬉しかった。

2年生3校交流会

2月17日（火）に、2年生の3校交流会が郡山小学校で行われました。2年生の3校交流会は、今年度2回目です。また、各学年の3校交流会は今回で最後になります。

交流会では、最初、各班に分かれて郡山小学校の児童が校内を案内してくれました。その後、体育館でドッジボールを楽しみました。子どもたちは、他校の児童と自然な雰囲気では話をしたり触れ合ったりしていました。以前の交流会より打ち解けた雰囲気だったと思います。最後の振り返りで合川の子どもたちは、「学校のどこに何があるかわかったし、ドッジボールで仲良くなれた」「学校たんけんて協力したから、3年生になってもっともっと仲良くなれると思った」といった、前向きな感想を話していました。



米作り 昔の道具の学習

2月18日（水）に、眞弓裕雄さん、中内滋さんをゲストティチャーに迎え、3年生が昔の米作りや道具について学習しました。

昔の道具は、眞弓さんに「足踏み脱穀機」や「唐箕（とうみ）」「犁（すき）」「発電機」等を持ってきていただき、米作りの仕事と、それぞれの道具の説明をしていただきました。実際に道具を触ったり体験したりする学習は、道具の工夫や今の機械との違いがよく分かり、子どもたちは興味深そうに学んでいました。また、耕運機やコンバインの値段も教えていただき、子どもたちは驚いていました。

眞弓さんからは、「米を作るにはいろいろな仕事があり、いろいろな機械が必要」「手間をかけた米を一粒でも大切に食べてほしい」と話していただきました。

